

自然と生き物の色々な話

～海に住む掃除屋さん～

海の中にはたくさんの生き物がいて、毎日何千何万という生き物が生まれて死んでいきます。生き物は他の生き物に食べられて死ぬことが多いのですが、食べられずに死んだときは「スカベンジャー」と呼ばれる海の掃除屋がその死体を食べ、生き物の栄養を循環させる役割を持っています。今回はそんなスカベンジャーを紹介します。

クモヒトデ(蜘蛛海星)

細く切れやすい足と灰茶色の体、そして運動能力が高いことが特徴のヒトデです。

海の中で人の頭ぐらいのサイズの石ひっくり返すと大抵1～2匹は見つけることができます。



ウミホタル(海蛍)

青白く光ることで有名なウミホタルもスカベンジャーです。真水が流れ込まない砂浜に生息しています。

小さな穴の空いたペットボトルに腐りかけの魚のアラやするめなどを入れて砂地に沈めてしばらくしてから陸にあげると捕まえることができます。



ヤマトホンヤドカリ(大和本宿借)

ごく普通に海岸にいるヤドカリの中では大きく、サザエの殻に入っていることが多いヤドカリです。

茹でられていないのに体は真っ赤で、目や足や触覚は赤白の縞模様になっています。



スカベンジャーと生き物の関係

代表的なスカベンジャーを3つ紹介しましたが、実は生き物の死体が海の中にあつた場合、スカベンジャーに限らず多くの生き物がその死体を食べにきます。生き物の死体を他の生き物が食べ、その生き物をさらに他の生き物が食べ、その生き物が死んだらその死体をスカベンジャーが食べ・・・と生き物が持っている栄養はぐるぐると生き物の間をまわっています。

問題

スカベンジャーとその他の海の生き物の食べる(→)食べられる(←)死体を食べられる(←)の関係が正しくなるように海の生き物の何が当てはまるか考え、生き物の絵と名前を書き込んでみましょう。

